

2022年度東京大学農学国際交流事業による「学部学生海外実習等補助費」 募集要項

本事業は、東京大学農学部創立140周年記念事業の一環として、教職員、卒業生、企業等からご寄付頂いた基金（※1）により運営されている。将来の農学を担う学部学生に対し、海外渡航に係る経費を補助することにより、国際交流及び研究活動の更なる発展を目的としている。

本補助費の支援を受けた海外実習等について、上記140周年記念事業ウェブサイト等への報告書掲載や、成果発表への参加などについて、積極的に参加する学生を歓迎する。

1. 補助の対象となる要件

- (1) 授業科目としての海外実習、その他、卒業論文等を含む授業科目としての海外渡航、または、専修が企画もしくは認定する海外プログラムへの参加。
- (2) 上記140周年記念事業ウェブサイト等や、同事業パンフレットなどに、本補助を受けて渡航した成果（下記6の報告書）が掲載される事に同意すること。
- (3) 2022年4月1日以降に出発し、原則、2023年3月31日までに帰国すること。
- (4) 本学及び本学以外から出張命令を受けての渡航でないこと。

2. 補助の対象者

農学部に在籍する学部学生。ただし、農学部獣医学専修5・6年次の学生は除く（農学国際交流事業による「大学院学生海外研修・国際会議発表補助費」に申請可）。

3. 申請手続き及び提出時期

各専修の補助の対象となる要件を満たす対象者について2022年6月3日（金）までに「農学国際交流事業2022年度学部学生海外実習等補助費申請書」を専攻支援チームに提出。予算に余裕がある場合には、さらに追加の募集を行うことがある。

4. 補助金額

年間80万円の予算内で学生1名につき3万円を補助する。

*同一年度内の申請可能件数は、1人につき1件のみとする。

*授業科目としての渡航を優先的に補助する。

*同一学生に対し、連続した年度に支給はしない。

5. 選考方法及び採否の通知等

選考は学部教育会議が行ない、採否結果は2022年7月中旬頃に各学部委員に通知する。

6. 報告書の提出

採択された学生は、既に渡航が終了している者は速やかに、これから渡航する者は帰国後1ヶ月以内に「農学国際交流事業2022年度学部学生海外実習等に関する報告書」を各専修の学部委員を通じ国際学務支援チームに提出すること。ただし、帰国が2・3月の場合はこれに抛らず帰国後速やかに提出すること。報告書の提出が確認できた後、補助費を支給する。

7. その他

(1) 受給者は、海外渡航に先立ち、「海外旅行届」を提出し、海外旅行保険に加入すること。なお、OS SMA（※2）への加入は、平成29年4月より任意となった。適用範囲の詳細は、農学生命科

学研究科 HP を参照すること。

(2) 海外渡航にあたっては、OSSMA加入の有無にかかわらず、海外渡航危機管理ガイドブックを確認すること。また学部の海外安全講習を必ず受講しなければならない。外務省が発表する公式情報も必ず確認すること。

関連リンク

- ・ [海外安全講習について（掲載場所：海外渡航に際して）](#)
- ・ [海外渡航危機管理ガイドブック](#)
- ・ [外務省 海外安全ホームページ](#)
- ・ [厚生労働省 FORTH ホームページ](#)
- ・ [全国大学保健管理協会 海外留学健康の手引き](#)
- ・ [東京大学 Go Global](#)
- ・ [IMAS（受入留学生向けサービス）](#)
- ・ [水際対策の抜本的強化について（新型コロナウイルス感染症）厚生労働省](#)

申請書 ([Word](#))

報告書 ([Word](#))

～～新型コロナウイルス感染症への対応について～～

※ 新型コロナウイルス感染症の状況により、授業科目としての海外実習、または専修が企画もしくは認定する海外プログラムへの参加が中止となる可能性があります。

※1：基金への大口寄付者

アサヒグループホールディングス株式会社／朝日工業株式会社／キッコーマン株式会社／キューピー株式会社／キリンビール株式会社／株式会社ぐるなび／サントリーホールディングス株式会社／すてきなグループ株式会社／日本製紙株式会社／農林中央金庫／株式会社 丸菱バイオエンジ／ヤンマー株式会社／株式会社 ロッテ

※2：OSSMAについて

農学生命科学研究科 [HP ホーム](#) > 在学生の方へ > [【重要】海外実地研究並びに留学プログラム期間中の留学保険等の加入について（農学系）](#) ©内容は随時更新されますので注意してください。

<2019年5月31日時点の案内：

<https://www.a.u-tokyo.ac.jp/cstudents/FutaiKaigaku20190531.pdf>>

抜粋：「海外実地研究並びに留学プログラム期間中の留学保険等の加入について」

農学系では、学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」）の加入者を対象として、下記に定める海外実地研究や留学プログラム等のいずれかに参加をされる場合において、留学先で安心して実りある留学生活を送ることができるよう、危機管理体制の一貫として「公益財団法人日本国際教育支援協会」の「学研災付帯海外留学保険（以下「付帯海学」）」制度への加入を必須としておりますので、忘れずに手続きを実施するようお願いいたします。従来どおり「留学」や「海外渡航」等に伴う事務手続き（「留学許可願」等）も別途必要になります。

なお、平成29年度より「日本エマージェンシーアシスタンス（株）」の海外渡航者向けの危機管理サービスである「Oversea Student Safety Management Assistance（以下「OSSMA」）」制度への加入については任意となりました。

「付帯海学」の適用となる「留学」等について

1. 正課教育の中での海外実地研究

海外において実習や研究・調査等（航海調査・航海実習等も含む）を行う、学部や大学院等の授業科目（シラバス等参照）については、適用の対象となります。

※なお、学部学生は卒業論文、大学院学生は、演習・実験（実習）等、各課程の2年間、3年間で行う科目については対象となりません。

2. 農学系において実施する留学プログラム

以下①～③のいずれかに該当する「留学プログラム」については、適用の対象となります。

① 国際交流協定（部局間協定等）に基づく留学プログラム

本学農学生命科学研究科との国際交流協定（部局間協定等）に基づく留学（国際学術協定一覧等参照）。

② 「国際交流促進プログラム」の「大学院学生の留学支援プログラム」による留学

③ 農学生命科学研究科を通じて公募・選考・推薦が行われる留学プログラム

例：グローバル・チャレンジ・ユニバーシティ・アライアンス・サマースクール